

## 第 61 回西日本生理学会 日本生理学会九州奨励賞

### Chemotactic cytokine ligand-1 (CCL-1) の疼痛発現

### および神経-グリアとの関わり



九州大学大学院薬学研究院病態生理学分野

秋元 望

この度、日本生理学会九州奨励賞という素晴らしい賞を頂くことができ、誠に光栄です。今回私は、ケモカインの一つである Chemotactic cytokine ligand-1 (CCL-1) に注目し、神経障害性疼痛発現への関与と神経およびグリアとの関連について検討を行いました。その結果、CCL-1 はミクログリアの活性および NMDA 受容体を介し、神経障害性疼痛の発現に関与していることが示唆されました。現在、CCL-1 の発現起源や NMDA 受容体との関連についてさらに研究を行っております。

今回の奨励賞受賞を励みにさらに研究に専念したいと思います。最後に、共同研究者の皆様およ

び福岡大学在学中に御指導してくださった高野行夫教授、本多健治助教、そして日々御指導をしてくださる病態生理学分野の野田百美准教授に深く感謝申し上げます。

#### 略歴

- 2008年3月 福岡大学 薬学部 卒業
- 2008年4月 福岡大学大学院 薬学部 修士課程（生体機能制御学）入学
- 2010年3月 福岡大学大学院 薬学部 修士課程（生体機能制御学）修了
- 2010年4月 九州大学大学院 薬学研究院 博士課程後期（病態生理学）入学